

青パト活動や民間交番で住んで良かったしあわせが実感できるまちへ ～ 天童市防犯協会天童支部 ～

天童市は、県内の中心部に位置し、寡雨小雪、自然環境に恵まれ、古くは旧羽州街道沿いに宿場町として栄えた交通の要衝として歴史的な背景がある町です。明治時代に開かれた天童温泉、全国生産量の95%を誇る将棋駒の産地、それにおいしいフルーツのまちとして、国内外から多くの観光客が訪れます。

本年3月には「新駅」が開業します。この駅は、モンテディオ山形のホームスタジアムや大型ショッピングセンターの出店で賑わう新しいまち「天童芳賀タウン」に近く、アクセス等の利便性から大勢の利用客が見込まれています。住環境の整備と相まって、これまで以上に住んで良かったしあわせが実感できるまちへと変わりつつあります。

当支部の発足は、昭和32年「犯罪のない明るく住みよい社会」の建設目的で市防犯協会の下部組織として結成され、会員は、原則区域内に居住する全世帯が加入し、年会費を拠出する形態で運営しています。役員は、各町内会から推薦された方など38名で構成され、主体となって活動しています。



子どもを見守りながら、盗難自転車の発見にも目を光らせる



青パト活動は、現在16台を運用しています。活動は、定期的な広報のほか、主に学童の下校時見守りパトロールです。犯行抑止策（見せる予防防犯）として、通学路中心に登校日は必ず巡回するなど、年間を通して取り組んでいます。また、市内の自転車盗は前年に比し大幅に増えている状況です。駅や店舗内駐輪場での発生が多く、新駅開業等により更に増加することが予想されます。盗難自転車は、道や空き地にも放置されていることが多く、それと思われる自転車を早めに見つけ出すことも、犯罪抑止に繋がるとの思いで巡回中は気を配っています。

そのほか、平成16年に「天童駅周辺に交番を」という声に呼応し、民間有志運営による「駅前パトロール館」（民間交番）が開設されました。ここでは、防犯に携わる各団体からボランティアで窓口従事を行い、駅前の環境浄化や防犯に関する情報を発信しています。また、警察署員の立ち寄り場所として、警察直通電話が設けられ、無人の場合でも対応出来る体制となっています。入り口正面には、青色回転灯が設置され、市内外から訪れる方への案内窓口としても活躍しています。

これからも、市民が安心して暮らせるよう、青色回転灯を安全安心のシンボル灯として活用拡大を図り、市民の防犯力向上を目指して活動して参ります。

（文～天童市防犯協会天童支部 事務局 庄司征夫）

【編集後記】平成26年は、山形県の青パト活動が大きく活性化した年となりました。1年間で27団体、526名、288台も増加し、取り組みが県内全域に拡大しています。今年も、交通事故に注意して、地域に根ざした活動をお願いします。皆様の活動に大きく期待いたします！

【山形県内の青パト情勢】
（平成27年1月末現在）
団体数：118団体4,097名
青パト台数：1,498台